

# 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループ

## ○趣旨

中央防災会議では、東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、これまで南海トラフ地震、首都直下地震について最大クラスの地震・津波を想定した防災対策の検討を進めてきた。

今般、日本海溝・千島海溝で想定すべき最大クラスの地震・津波の検討が進んだことから、これに対する被害想定、防災対策の検討を行うために、防災対策実行会議の下にワーキンググループを設置（令和2年4月）。

## ○論点

- ・日本海溝・千島海溝沿いで想定される最大クラスの地震・津波による人的・物的・経済的被害の想定
- ・これら想定される被害を軽減するための防災対策
- ・特に、寒冷地、積雪地特有の被害の想定、防災対策

## ○検討経緯

- ・令和2年7月 第1回会合開催

## ○メンバー

委員	所属
◎河田 恵昭	関西大学理事・特別任命教授・社会安全研究センター長
○今村 文彦	東北大学災害科学国際研究所所長・教授
井出 多加子	成蹊大学経済学部教授
蝦名 大也	北海道釧路市長
片田 敏孝	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター特任教授
熊谷 雄一	青森県八戸市長
佐竹 健治	東京大学地震研究所教授
鈴木 直道	北海道知事
瀬尾 英生	北海道経済連合会専務理事
谷岡 勇市郎	北海道大学大学院理学研究院付属地震火山研究観測センター・教授
田村 圭子	新潟大学危機管理本部危機管理室教授
中埜 良昭	東京大学生産技術研究所教授
根本 昌宏	日本赤十字北海道看護大学災害対策教育センター長・教授
野田 武則	岩手県釜石市長
平田 直	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 参与・首都圏レジリエンス研究推進センター長（東京大学名誉教授）
福和 伸夫	名古屋大学減災連携研究センター・教授
松本 浩司	日本放送協会解説主幹
丸谷 浩明	東北大学災害科学国際研究所副研究所長・教授

◎：主査、○：副主査、以下50音順